

別紙 2

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和4年度）に対する自己評価結果

都道府県名： **宮崎県**

ア 取組の支援についての自己評価結果
項目名
高齢者が活躍する社会の推進
目標を設定するに至った現状と課題
<p>本県では、人口が減少傾向にある中高齢者人口は増加を続け、2025年頃をピークに減少に転じるものの、相対的に高齢化率・後期高齢化率ともに高く推移することが見込まれている。このような状況下、活力ある社会づくりのために、高齢者が持てる知識や経験、技能などの能力（「シニアパワー」）を十分に発揮し、地域社会を支える一員として活躍できるよう、生きがいづくりや生涯学習・生涯スポーツの支援をはじめ、多様な社会参加や就業の促進などに資する施策に取り組むことが重要である。</p>
取組の実施内容、実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>●NPO等の立ち上げやNPO活動等への参加の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア活動団体に対する研修参加者数 14人</li> <li>・シニアインターンシップ体験者数 96人</li> </ul> </li> <li>・NPO等の情報提供 登録団体数 100団体</li> <li>●高齢者の社会参加に係る機運醸成のための広報・啓発               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングモールや図書館等でのパネル展示(6回)</li> </ul> </li> <li>●老人クラブへの活動支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・県老人クラブ連合会、市町村老人クラブ連合会及び単位老人クラブへの補助</li> </ul> </li> <li>●高齢者が主体的に参加するスポーツ・文化イベントの開催支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎ねんりんピック交流大会及び全国健康福祉祭、心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会への補助</li> </ul> </li> </ul>
自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>●老人クラブ会員数               <p>38,387人(R元年度末)→36,093人(R2年度末)→33,977人(R3年度末)→32,216人(R4年度末)</p> </li> <li>●宮崎ねんりんピックの参加者数（令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止）               <p>3,314人(R元年度)→0人(R2年度)→1,199人(R3年度)→2,722人(R4年度)</p> </li> <li>●全国健康福祉祭の参加者数（令和2年度は新型コロナウイルスの影響により次年度に延期、3年度は中止）               <p>131人(R元年度)→0人(R2年度)→0人(R3年度)→178人(R4年度)</p> </li> <li>●心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会の応募者数               <p>1,909人(R元年度)→2,034人(R2年度)→2,095人(R3年度)→2,014人(R4年度)</p> </li> </ul>

※複数項目に分ける場合には、項目ごとに様式を分けて記入する。

## イ 管内保険者の自己評価結果の概要

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中で、多くの保険者において、感染対策を講じながら介護予防教室などを開催し、高齢者の健康・生きがいをづくりに取り組んでいる。

## ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）

- 老人クラブ会員が減少傾向にあることから、会員、特に若手高齢者の加入促進のための魅力あるクラブ活動を検討する必要がある。
- 宮崎ねんりんピック、心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会等のスポーツ・文化イベントの周知方法を検討するなどして、高齢者の社会参加の取組を促進する必要がある。
- 高齢者のこれまでの経験や知識などを活用し、その意欲と能力に合わせた就業の機会を確保していく必要がある。